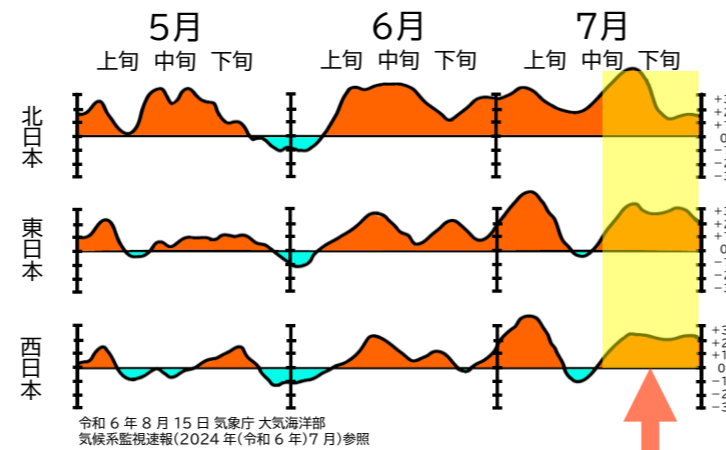


## 今年の夏も暑すぎる！

水稻圃場等で生産者様より「動散を担いで農作業をしていると**命の危険**を感じる…」という声が聞こえてきました。

8月18日付け、気象庁発表によると「福岡県の太宰府と兵庫県の郡家(淡路市)では31日連続、猛暑日になりました。国内のこれまでの最長記録を更新です。気象庁は、高温に関する気象情報を発表し、熱中症など健康管理に注意するよう呼び掛けています。昼夜を問わず熱中症対策が必要な日は、9月に入る頃にかけて続くでしょう。**9月7日の「白露(はくろ)」の頃**になると、状況は変わり、朝夕はしのぎやすい日が増えてきそうです。」との事ですが…早く猛暑から抜け出したい所です。

今年の平均気温と例年の平均気温差



7月中旬頃から、連続猛暑日スタート

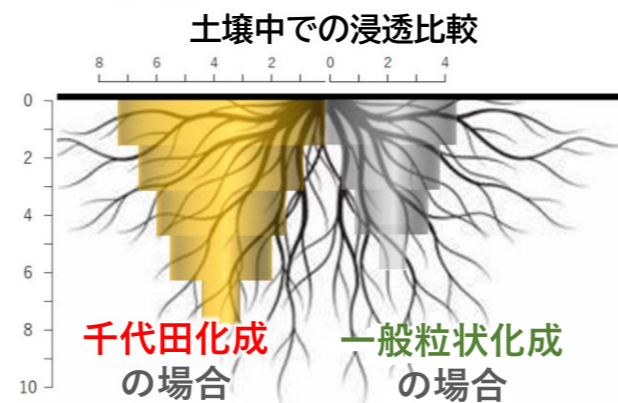
今号では「千代田化成で夏バテ回復」と「最新型ドローン追肥」現地レポート」を掲載いたします。

## 作物も夏バテ…実りの秋に向けて対策を

お盆も過ぎてこれから実りの秋が訪れます。作物も猛暑で夏バテ気味！作物に**喝**を入れましょう。

## 再確認しましょう 千代田化成の特長

サンアグロ独自の**ポーラス形状**により、少ない水分でも素早く溶けて速やかに作物に吸収される事が大きな特長ですが、土の中でも千代田化成は、**高い浸透性**により広い根圏をカバーでき、より多くの根でより、多くの肥料成分を吸収するので、根にストレスが少なく、効率的に吸収されます。下記は、サヤインゲンの圃場になります。暑さ対策で畝の半分を藁で直射日光を遮っていますが追肥をしても中々、効き目が遅く困っていましたが、追



肥を千代田化成したら、3日～4日くらいで効き目が現れ、収穫量が回復して収穫が大変との嬉しい悲鳴?!  
ちなみに追肥の施肥量は、**チッ素換算で2～3kg/10a**  
**10日間隔で施肥** ※品種「いちず」

写真は、「ビックリジャンボ」という品種で、施肥量は若干多めで3～4.5kg/10a(7日間隔)千代田化成にしてから樹勢を見つつ施肥量を調整しているそうです。



散布実施日：2024年8月7日  
定植日：2024年5月末  
品種：オオナリ(飼料米)  
機種：DJI AGRAS T-50  
散布銘柄：ドローンN44 <44-0-0> 15kg  
<硫黄被覆肥料配合肥料>  
施肥量：10kg / 10a <N4.4kg / 10a>



ドローンN44  
3袋充填

(容量70L)



1フライト：約45a <45kg施用>  
実施時間/面積：約50秒 / 10a  
総施用面積：4.2ha  
総作業時間：約1時間30分  
(圃場間移動15分、諸々作業含む)

ドローンN44は速効性チッソと硫黄被覆肥料を含有しているので、**穂肥**と**実肥**を同時施用できます。酷暑の際には穂肥と実肥をしっかり施用する事で高温障害による白未熟粒や胴割れ粒等の発生が抑制される効果が期待できます。

ドローン散布で大幅な**時間短縮** / **労力削減**を実感  
**脱プラ肥料**で環境にも優しいスマート農業

### ドローン肥料

#### 硫黄被覆肥料配合



硫黄被覆肥料を配合しており、**流亡**が少なく肥効に持続性があります。

### ドローン散布動画

今号の現地レポート動画・千代田化成のドローン散布動画に下記QRコード、アドレスからアクセスできます。



① 今号現地レポート動画  
DJI AGRAS T-50  
ドローンN44 散布(水稻)



② 千代田化成  
ドローン散布(水稻)

<https://www.youtube.com/watch?v=ZL0SlxbsK6c>  
<https://www.youtube.com/watch?v=jm3RU-nCFO0>